

令和4年度
小金井市立小金井第二中学校
特別支援学級（6組）

学級要覧

令和4年度 小金井第二中学校特別支援学級概要

《教育課程》

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

社会の一員としての自覚を高め、豊かな創造力と実践力をもった人間の育成を目指して、

- ・自他を認め、支え合う生徒
- ・すすんで学び、考え、行動する生徒
- ・心身を鍛え、たくましく生きる生徒

(2) 特別支援学級の教育目標

学校の教育目標に基づき、次の目標を設定する。

- ア 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、自ら学び考えようとする姿勢を育てる。
- イ 社会の一員として必要な知識、技能、体力の基礎を養い、生きる力を育てる。
- ウ 人間関係の形成を目指し、コミュニケーション力など集団生活に適応できる基礎的な力を育む。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア 生徒個々の障害・発達・生活の様子・生活年齢・アセスメント等から教育的ニーズを明確にし、個別指導計画を作成して、生徒・教員・保護者共通理解のもと指導を進める。
- イ 生徒相互及び生徒と教員の信頼関係を基にして、学ぶ意欲や自己肯定感を育て、成功経験、充実感、達成感を与えることで、生徒一人一人の生きる力を育てる。
- ウ 生徒の教育的ニーズに即して、学習内容を精査し、生活に結び付いた具体的な内容の指導を充実させるとともに、教養の涵養を図る。
- エ ICT機器を活用して視覚的な支援を行う等、生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導形態、指導内容を設定する。
- オ 個別の教育支援計画を策定し、地域・医療・専門機関等との連携を行う。
- カ 特別支援学級の基盤を大切にしながら、生徒個々の実態に応じて、通常学級との計画的な交流や共同学習を設定し、お互いについて知る機会を設ける。
- キ 社会的・職業的自立に向けて、職場体験や職場見学、各教科の教育活動全般において、基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の向上を目指させる。
- ク 各教科や総合的な学習の時間等で、ICT機器を使用した調べ学習に取り組みせ、生徒がICT機器の基本的な操作を覚えるとともに、情報モラルを身に付けられるようにする。
- ケ 学校2020レガシーとして、東京オリンピック・パラリンピックを通じ、健康・安全に関する教育活動を行い、生涯にわたって必要とされる、自他の健康・安全、危険回避能力を育てる。また、保健体育をはじめとする教育活動を通して体力の向上やスポーツに親しむ態度を育てる。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動等の指導の重点

ア 各教科

- ① 障害特性や発達段階を考慮し、生徒の教育的ニーズを捉え、各教科の課題に即した指導形態で授業を行う。
- ② 基礎的・基本的な内容を中心に、日常生活に結び付いた具体的な内容となるように指導の工夫を行う。
- ③ ICT機器を用いて、視覚的な支援を行う等、指導方法を工夫する。
- ④ 保健体育では、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣や意欲を育て、基礎体力・健康の増進を図るとともに、チームプレイの経験を通して自他を尊重する気持ちを育てる。
- ⑤ 職業・家庭では、調理・手芸を中心とした継続的な取り組みによって勤労への意識を高める。
- ⑥ 生徒個々の特性や実態に合わせて、通常学級の交流を図る。
- ⑦ 保健体育科等でオリンピック・パラリンピックについて触れ、スポーツの意義、公共的な活動への参加等について考える契機とする。

イ 特別の教科 道徳

- ① 個々の生徒の障害の実態、生活年齢、学習状況及び経験の差に応じて適切に指導の重点を定める。
- ② 学校生活の中で起こる身近な問題を中心に、具体的に集団生活のルールやマナーについて考えさせ、身に付けさせる。
- ③ 自分自身の生命や心の大切さとともに、他人の人の生命や心の大切さを理解できる人権意識や、いじめを許さない公德心を育むようにする。
- ④ 道徳授業地区公開講座に参加し、保護者や地域にも公開講座への参加を促し、学校や学級の指導を理解し、家庭や地域と連携して生徒を育てる契機とする。

ウ 総合的な学習の時間

- ① 各教科や行事と関連させながら、自分で調べて考える力、表現する力を育てる。
- ② 日本の伝統的な文化に触れたり体験したりする機会を設ける。
- ③ ICT機器を活用しながら、教科の学習や行事の事前事後学習において調べ学習を行う。パソコンの使い方や入力の方法について学ぶとともに、インターネット利用の際の情報モラルについても学習する。

エ 特別活動

- ① 学級の活動においては、話し合い活動や当番活動を通して、積極的に活動に参加し、責任をもって自分の役割を果たそうとする態度を育てる。
- ② 生徒個々の実態に応じて、生徒会活動や学年行事、学校行事への参加を促し、無理のない範囲で共に活動する機会を計画的に設ける。
- ③ 連合作品展など、表現や鑑賞の活動を通して、文化や芸術を愛する心を育て、感性を高める。

オ 自立活動

- ① 生徒個々の実態や教育ニーズに基づいた個別指導計画を作成し、それをもとに障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立した社会参加する資質を養うため、学校の教育活動全般を通じて適切に行う。

カ 各教科等を合わせた指導

- ① 日常生活の指導では、清掃活動等の掃除の手順や整理整頓、着替えや整容行為などの身だしなみ、礼儀作法等の身近自立の指導に取り組む。
- ② 生活単元学習では、買い物学習や公共の場でのマナー、行事を中心とした事前事後学習に取り組む。
- ③ 作業学習では、校内実習や職場実習、木工作業、紙工を通して勤労への意欲を高める。また、植物の栽培を通して環境問題や食生活への意識を育てる。

(2) 生活指導の重点

- ア 学校生活全体を通して、互いの良さを認め合い、高め合える「良き社会人」としての集団を育てる。
- イ 社会性の向上を目指し、教育活動全般を通してソーシャルスキルトレーニングに取り組む。
- ウ 保護者の協力を得て、決まった通学路を通るよう指導し、登下校の安全を確保する。
- エ 生活年齢を意識した行動ができるよう指導するとともに、性犯罪を含めた犯罪行為の被害者や加害者とならないよう知識と自己をコントロールする術を身に付けさせる。
- オ セーフティ教室等の機会を活用し、交通安全やインターネット、SNSの利用についての安全指導を徹底する。
- カ 避難訓練や学級活動の時間を利用し、防災について日ごろから話題にし、防災安全教育の推進を図る。
- キ 望ましい生活習慣を確立し保持するために、健康的な体づくりや食生活、就寝起床等の生活リズムについての指導を行う。朝の活動には、体育的な活動を主として行い、継続的に基礎体力の向上を図る。
- ク 清掃活動やごみの分別、電気の節約などの環境問題に関心をもたせ、リサイクルや節電など自分ができることを実践しようとする態度を育てる。

(3) 進路指導の重点

- ア 上級学校訪問、職場実習・校内実習、特別の教科道徳、および総合的な学習の時間等での取組を通して、生涯にわたって社会の一員として主体的に社会参加できるよう、望ましい職業観や勤労観を身に付けさせる。
- イ 進路の選択・決定にあたっては、生徒に対しては特別の教科道徳、学級活動、総合的な学習の時間等での取組や、個別面談を通して、十分な情報提供に努める。
- ウ 上級学校卒業後の生き方を含め、よりよい進路選択ができるよう、保護者向けの職場見学や上級学校訪問、個別面談を充実させ、保護者への情報提供と共通理解に努める。
- エ 進学にあたっては、個別指導計画や個別の教育支援計画に基づき、保護者に対して進路先に十分な引継ぎを行う。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- (1) 学級の集団作りを重視し、異年齢集団を意識した取り組みを行う。生徒同士が皆で力を合わせて取り組むことの大切さを学べるよう指導する。
- (2) 特別支援学級の生徒の指導について、全教員の理解と協力が得られるように、相互の連携や情報交換を図る。
- (3) 近隣校の特別支援学級と合同の行事を行い、他校の生徒と交流を図る。
- (4) 保護者と学校が協力し、共通理解をもって生徒の育成にあたるよう保護者会、個別面談、授業見学等の機会を設ける。
- (5) 個々の生徒の障害特性を理解し、実態の把握を適切に行うとともに、教育ニーズに応じた指導や環境調整を行う。

《在籍生徒》

	男子	女子	計
1年生	3名	1名	4名
2年生	4名	1名	5名
3年生	3名	0名	3名
計	10名	2名	12名

(2学級)

《指導内容》

国語：日常的言語能力

※見る・聞く・判断する・想像する等、考えること、生活の中で使う文字の読み書き、書写、名前、住所、自己紹介、文を書く、ことわざ、漢字の部首、文章読解、しおりや資料の読み取り、コミュニケーション 他

社会：地理（日本・世界）、歴史、暮らしと公共施設 ニュース 社会生活のルールやマナー 他

数学：生活の中の数・量

※四則計算、文章題、金種の理解、数の大小、生活の中の品物のおおよその金額、

図形、少数、分数、長さ、単位、百分率 他

理科：生活の中の科学知識（植物の栽培・水と空気・光の反射・電磁石 他）

音楽：歌唱（発声練習・合唱等）、合奏 他

美術：絵画、造形、デザイン 他

保健体育：体操、陸上、水泳、球技 他

職業・家庭：刺繍、調理 他

外国語：英語に関する基礎知識…アルファベット（ローマ字を含む）、生活の中の単語、あいさつ 他

総合的な学習の時間：調べ学習、情報の取得やコンピュータ使用に関する学習、上級学校訪問や職場実習等を通じて、将来の生き方や就労について考える学習、ボランティア活動 他

道徳：公共のマナー、善悪判断、思いやり、友だちや家族との関係、コミュニケーションの取り方

特別活動：学級活動、話し合い、係活動、安全教育、生徒会活動、委員会活動 他

作業学習：職場実習・校内実習を中心とした作業活動、木工、園芸 他

生活単元学習：買い物学習 校外歩行 行事を中心とした事前事後を含む学習 他

日常生活の指導：掃除用具の使い方、整容行為、日常生活動作（トイレ・食事・更衣等）のしかたとマナー 他

《週時程（予定）》

	月	火	水	木	金
	朝礼／朝の活動	朝の活動	朝の活動	朝の活動	朝の活動
	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活
1	国語	数学	保健体育	道徳	国語
2	社会 理科	生活単元学	国語	数学	理科 社会
3	数学	生活単元学習 作業学習	職業・家庭	総合的な学習の時間 英語	美術
4	英語 総合的な学習の時間	生活単元学習 作業学習	職業・家庭	国語	美術
給食・昼休み					
5	音楽	保健体育	職業・家庭	保健体育	保健体育
6	音楽	日常生活の指導	/	作業学習	（特別活動 学級活動）